総合2023　自分軸を考える〜なに、なぜ、どうする〜

第5回 5月25日（木）13:00〜14:30

出会い・創造・変容の「わたし」軸

〜Hawai'i > 日本人移民 > 沖縄系移民 > 沖縄系女性移民 × わたし〜

山下靖子氏

津田塾大学国際関係研究所特任研究員
/ 法政大学沖縄文化研究所国内研究員

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

＜講師プロフィール＞

異文化間コミュニケーションの分野で修士号を取得したのち、しばらくマスコミ業界へ身を置くも1998年津田塾大学大学院の国際関係研究科へ門戸をたたく。その後は、ハワイと沖縄を行ったり来たりしながら長い月日を経て2023年3月に博士号取得（国際関係学）（タイトル：戦後沖縄問題を巡るハワイの「沖縄系移民」に関する国際社会学的研究ー 日本とアメリカの狭間で「オキナワン」であるということ）。その間に気づいたら夫一人と、子供が二人。

＜担当スタッフより＞

山下靖子先生は、ハワイと沖縄をフィールドとし、ハワイにおける沖縄系移民について、最近では、沖縄系女性移民について研究をされている方です。このハワイに住む沖縄系移民のように「いろんなルーツを持つ人たちで溢れている」社会では、「自分自身は何者なのか」というアイデンティティの問題に苦悩してきた人々が、大勢存在すると思います。そのような人々にとってアイデンティティとは、自分を語るための「自分軸」と定義できるのではないでしょうか。受講生の皆さんには、長年沖縄系移民の方たちと向き合ってきた山下先生のご講演を通して、「自分軸」とは、社会にある多様なルーツや属性との密接な関わりや、そうしたものとの融合、それらとの格闘によって自らの手で作り上げられるものである、ということを感じていただければと思っています。